

## 電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	社会情報システム学特論1		
英文授業科目名	Advanced Topics in Information Systems 1		
開講年度	2006年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	情報システム学研究科-情報システム運用学専攻-特論科目		
開講学科・専攻	情報システム運用学専攻		
担当教官名	藤村 考、関 良明		
居室	I S 客員		

公開E-Mail	授業関連Webページ
	<a href="http://ntt.ohta.is.uec.ac.jp/">http://ntt.ohta.is.uec.ac.jp/</a>

### 【講義の狙い，目標】

狙い： 高い視点から物の見方を捉え，社会活動と協調する技術を構築する方法論を学ぶ。  
 目標： 情報検索技術、コミュニティ分析技術および協調作業支援システムに関し、基礎と技術動向を習得する。  
 対象とする学生： これらの技術分野に興味があり，この分野における実用的な技術および研究方法を習得したい人。

### 【内容】

本特論では，社会情報システムの要素と考えられるいくつかの項目に関して，理論，機能，構造，評価，応用等を論じる．本年は特に次の項目を中心に学ぶ．

- 1．情報検索アルゴリズム
- 2．Webマイニング技術
- 3．トラストモデルと評判管理システム
- 4．コミュニティ分析と可視化技術
- 5．協調作業支援システム
- 6．ハイパーテキストシステム
- 7．RFID活用システム

### 【教科書，参考書】

教科書は利用しない。必要に応じてOHPを使用すると共に、配布資料と参考図書紹介を行う。

### 【予備知識】

専門的な基礎知識は前提としない。

## 電気通信大学 平成18年度シラバス

### 【演習】

基本的に毎回，短時間演習を行う。

### 【成績評価】

期末のレポート，毎回行う演習，出席状況を全て考慮する。

### 【その他】

いくつかの研究論文を使って研究事例を紹介し，研究の着眼点とアプローチを学ぶ。  
また、Ruby等のスクリプト言語によるアルゴリズムのコーディング事例や、Weka等の学習分析ツールの利用法を紹介し、理論を具体的事例にどのように適用させるかを学ぶ。